

3年連続ベア勧告も実質賃金低下 配偶者の扶養手当を2年で半減

2016年
人事院勧告

【全労連談話】2016年人事院勧告にあたって

人事院は本日、2016年度の国家公務員給与に関する勧告と、職員の両立支援にかかる勤務時間の改定に関する勧告、意見の申出、および関連する報告をおこなった。

それによると、民間給与との比較で、月例給で0.17%（平均708円）、一時金で0.10月下回っているとして、3年連続となる俸給表の水準と一時金の引き上げが勧告された。初任給を1,500円引き上げ、若年層を同程度改善し、高齢層も含めてすべての俸給号俸を引き上げた。一方でまた、配偶者手当を半減する「扶養手当の見直し」も勧告された。

3年連続の引き上げであり、公務と民間労組が一体となってねばり強くたたかったことの一定の反映ということが出来る。しかし、同時に、アベノミクスのもとで貧困と格差が加速的に拡大して人々の暮らしが悪化し、実質賃金の引き上げが強く求められていたことからすれば、不十分な引き上げといわざるを得ない。また、2014年勧告の「給与制度の総合的見直し」によって平均2%、高齢層では最大4%もの賃金削減がされ、経過措置として支給額が据え置かれているもとでは、実際には多くの公務労働者は引き上げにならない。

一方で、強行された「扶養手当の見直し」については、重大な労働条件の不利益変更であるにもかかわらず、労働組合とのまともな協議はなく、民間における支給実態や公務労働者の実態を無視して、配偶者手当の切り下げが勧告されており、人事院の使命にも反するものとして厳しく批判されねばならない。

また、本府省調整手当を引き上げ、「給与制度見直しを円滑に進める」としたことは、昨年勧告の地域手当における「地域間格差の拡大」につづいて、地方との格差をさらにひろげるものであり、認めることはできない。賃金の地域間格差は、若年労働者が地方から流出し、地域経済が衰退する要因ともなっており、格差の是正こそが民間労働者や地域の事業者、自治体の切実な声である。同時に、公務員給与における職務給の原則をゆがめ、人事異動に弊害を引き起こすものとして批判されねばならない。人事院は、労働基本権制約の代償機関である。そうであるなら、公務労働者の切実な要求に正面から向きあい、職員からの信頼を取り戻す本来の役割発揮をめざすべきである。

全労連はあらためて、「給与制度の総合的見直し」と配偶者手当の改悪の中止を強く求める。また、非常勤職員の処遇を早急に改善するとともに、定年延長、再任用・再雇用問題を検討するにあたっては、その社会的な影響の大きさもふまえ、ひろく利害関係のある労働組合の意見を聞き、慎重な検討をおこなうよう求める。憲法とILO勧告にもとづいて、公務労働者の労働基本権を早急に回復するよう強く要請する。

2016年8月8日

全国労働組合総連合 事務局長 井上 久

官民共同で賃上げを

長野労連青年部

ビアガーデンで交流

8月5日金曜日、長野駅前MIDORI屋上の星空ガーデンにて、長野労連青年部主催のビアガーデンを開催しました。

当日は70名を超え、例年にない大勢の方が参加し、夏らしく蒸し暑い夜でしたが、おかげでおいしいお酒が飲めたことと思います。職場ごとに盛り上がる席もあり暑気払いも兼ねたような楽しそうな雰囲気もありました。

このビアガーデンは、各職種で所属する労組団体がその垣根を越えて交流することで、違う職種でも悩みや現状、時には愚痴をこぼしあって思いを共有できるようなきっかけとなることを目的として毎年開催されています。参加人数や座席の関係もあり、他の団体と交流することが難しかった方も多くいるかと思いますが、長野労連青年部ではみなさんが日常の悩みなどから少しでも解放され、楽しく、ともに学びあえる企画を今後も計画していきたいと思っています。

長野労連青年部
岡本しおり
(長野地域民医労)



安倍政権は 原発再稼働ヤメよ

◆四国電力は8月12日、再稼働に反対する世論に背き、伊方原発3号機(愛媛県伊方町)を再稼働させました。

新規制基準の施行後に稼働させた原発は、九州電力川内原発1、2号機、関西電力高浜原発3、4号機(司法判断により停止中)に続き5基目です。

◆東京電力福島第1原発事故の収束もほど遠く、今なお9万人が避難生活を強いられている中ででの暴挙です。

◆同原発は、ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)を使うプルサーマル運転です。使用済みのMOX燃料の処理方法は全く決まっていないにもかかわらず、増やし続けるのは、まったく無責任です。

◆安倍政権は、原発に固執し、再稼働を強行する政策を直ちに転換すべきです。

学習し運動を進めましょう

◆下記DVD(日本と原発)を、7・27中央行動参加のバス車内で、みんなで視聴・学習しました。

全国の原発差し止め訴訟の先頭に立つ弁護士が作ったドキュメンタリー映画です。

◆DVDが、長野労連にありますので、希望するみなさんに貸し出します。長野労連に電話で申し込んで下さい。(TEL 235-8202)

下記DVDが長野労連にあります。(右上紹介参照)
貸し出します。長野労連に申し込んでください。

全国で上映回数
1000回突破!
動員7万人超!
記録更新中!

知っていますか? 原発のすべて。
原子力発電の仕組みとは、歴史とは、それを支える日本の社会構造とは。そして、事故によって故郷を失った人たちは?

全国の原発差し止め訴訟の先頭に立つ弁護士が描く原子力発電のすべて!
2011年3月11日、東日本大震災によって起きた福島第一原発事故。事故発生直後に始まった「脱原発運動」の経緯。福島第一原発事故の真相。事故発生直後に始まった「脱原発運動」の経緯。福島第一原発事故の真相。事故発生直後に始まった「脱原発運動」の経緯。福島第一原発事故の真相。

日本と原発
私たちは原発で幸せですか?

価格 本体3,200円(税別) 本体1,350円 判型:2巻 MPEG-2 COLOR レンタル禁止 複製不可
オプション(自費別) DVD-R 16:9 15分 KPR0-001 DVD VIDEO

発売 7/27(土)より、全国の映画館・DVDレンタル店にて発売。各映画館・DVDレンタル店にてお問い合わせください。

販売 全国主要映画館・DVDレンタル店にて発売。各映画館・DVDレンタル店にてお問い合わせください。

なぜ、弁護士がドキュメンタリー映画を作ったのか?

伝えたいのは隠された真実

日本と原発
私たちは原発で幸せですか?

監督 河合弘之 編集 松野 海渡雄 出演 新垣隆

長野労連 第38回定期大会

■日時：9月2日(金)

18:30~20:00

■会場：高校教育会館大会議室
(別館2階)

※議案書(代議員用と組合員用)を各組織に配布します。

★安倍政権が進める危険な国づくりを止め、平和と暮らしを守る運動方針を確立するために、積極的な討議をお願いします。